

これまでの事業を見直したり、新しい事業を進めていくことは必要だとは思いますが、みんなの負担がさらに増え、不満につながってしまうのではないかと心配です。

アイディア紹介 **楽しくできることを見つけ、任せる**
～天間地区では、たまんじゅう創作研究会が始まりました。～

富士市立高等学校『究タイム市役所プラン』の提案が動き出しました

今年度の富士市立高校「究タイム市役所プラン」からは、高校生の感性を生かしたさまざまな提案が生まれました。天間地区を担当したグループでは、地区の特徴としている梅をPRする方法として、商品開発の提案をしました。その名も「たまんじゅう」。

提案をうけた天間地区では、「おもしろい！」と乗り気になり、さっそく地区の婦人部と栄養士の資格をもつ有志など9名が集まり、高校生と



一緒に試作品づくりにとりかかりました。高校生からのカレーやチーズなどの思いもよらない館のアイディアに、「最初は断るために」試作をしたところ、「案外イケる！」と取り入れることになりました。何度も試作り、生地にも工夫を重ねました。イメージどおりになかなかいかず、失敗の連続だったとか。しかし、苦勞の甲斐あって、なんとか完成にこぎつけました。この苦勞話は地区の話題となり、「たまんじゅう」は口コミで広まっていきました。

お披露目は地区の一大イベントである「天間梅まつり」で。口コミのおかげか、即時完売で大好評でした。当日は会場に市長も訪れ、高校生とともに発表を祝いました。



天間地区まちづくり行動計画にも「たまんじゅう創作研究会」が記載され、環境分野の『歴史文化に人が集う「梅の里」づくり』にむけた活動の一つとして位置付けられています。



しかし、商品としての品質や価格、パッケージなどまだ「名物」にしていくためには課題も山積み。今後は専門家の指導なども取り入れながら、地域の力を結集させて育てていく予定です。楽しくまちづくりの輪が広がっています。

各地区のまちづくり行動計画のパンフレットは3月末に配布される予定です。

まちづくりセンター長と地区担当班長の研修会を行いました まちづくりセンター長と地区担当班長の2

回目の研修会を行いました。それぞれの地区における行動計画づくりの活用に向けて具体的なアイディアを出し合いながら話し合いました。

地区担当班も 住民として地区活動への参加をさらに進めていくとともに、まちづくりセンターとの連携を深め、まちづくり行動計画の推進に積極的に参画していくことを確認しました。

ゴブタ^⑤ レポート

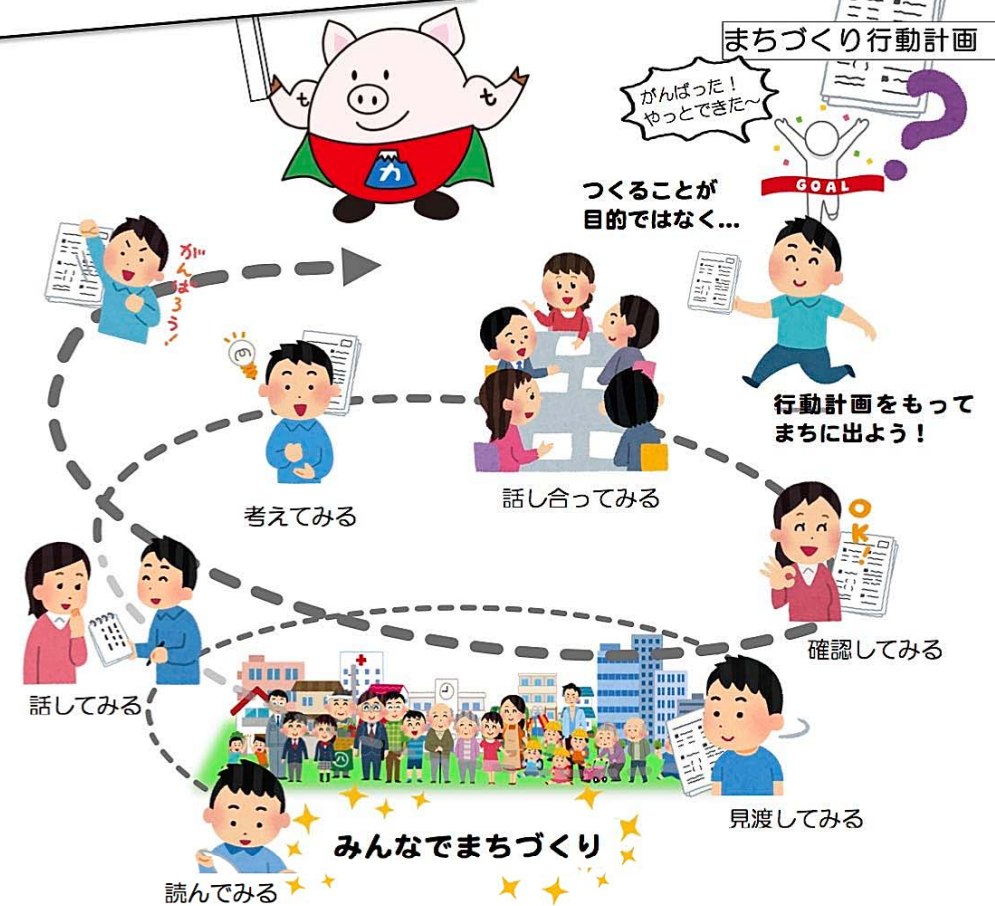
地域のかぶ増進計画・ニュースレター

KOBUTA REPORT

まちづくり行動計画をつくる の巻

発行 平成 28 年 3 月
発行者 富士市市民部まちづくり課
富士市永田町1丁目100番地(富士市役所3階)
電話 0545・55-2887
HP <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

2年にわたり取り組んできた「まちづくり行動計画」づくりも完成が近づき、ほっとしているところかもしれませんが、せっかくつくった計画も本棚に飾られてしまうだけになっては残念です。いつもみなさんのそばに置いて、時々中身をチェックしながら、これからも活動をすすめていきましょう。自分たちのまちの少し先の未来に向かって愛着をもって育てていきたいものです。



このニュースレターでは、今年度完成を目標に、各地区で進められているまちづくり行動計画づくりの様子をお知らせするほか、協議会を運営していくうえでの課題に対応したヒントなどもご紹介いたします。それぞれの地区のまちづくり行動計画づくりや協議会活動の活性化にぜひお役立てください。